

国際スケート連盟

コミュニケーション No. 1670

アイス・ダンス

技術規程のための要求事項 – 2011/12 シーズン

技術規程ではアイス・ダンス技術委員会が定める要求事項によって補われるべき規定がいくつか指定されている。

- 国際競技会のためのパターン・ダンス、ショート・ダンスのリズムまたはテーマ、必須要素およびガイドライン、ならびにフリー・ダンスの必須要素、これらは技術規程の中で1シーズンのみ有効な要求事項として定められている。2011/12 シーズン間の要求事項は本コミュニケーションに含まれる。
- 衣装の要求事項、コールの仕様および難度レベル (LOD)、採点基準ならびに価値尺度表 (SOV) は技術規程の中で今後有効であり続ける要求事項として定められる。これらは必要に応じて更新されうる。現在有効な要求事項への更新で、2011年7月1日に有効となるものは、2011年6月1日以前に今後のコミュニケーションにて発表される。

1. 国際ノービス競技会のためのパターン・ダンス

規程第 639 条第 1 項に基づいて、国際ノービス競技会のためのパターン・ダンス課題を以下のとおり発表する。

ベーシック・ノービス

グループ 1 : 1 番フォーティーンステップおよび 4 番ヨーロッパ・ワルツ

グループ 2 : 2 番フォックストロットおよび 5 番アメリカン・ワルツ

- シーズン 2011/12 および以降 2 年ごとに : グループ 1
- シーズン 2012/13 および以降 2 年ごとに : グループ 2

アドバンスト・ノービス

グループ 1 : 4 番ヨーロッパ・ワルツおよび 20 番タンゴ

グループ 2 : 3 番ロッカー・フォックストロットおよび 9 番スターライト・ワルツ

グループ 3 : 12 番キリアンおよび 23 番ブルース

競技会の最初の公式練習より前に、そのシーズンの課題として発表された 2 グループの中から 1 グループ 2 課題を抽選する。

- シーズン 2011/12 および以降 3 年ごとに : グループ 1 および 2
- シーズン 2012/13 および以降 3 年ごとに : グループ 2 および 3
- シーズン 2013/14 および以降 3 年ごとに : グループ 3 および 1

2. ショート・ダンスの要求事項

2.1 リズム

規程第 639 条第 1 項 a ではリズムおよび／またはテーマはアイス・ダンス技術委員会によってシーズンごとに毎年選ばれると定めている。2011/12 シーズンは以下のリズムが選ばれた。

シニア

以下のラテン・アメリカン・リズムから 1～3 つ：チャ・チャ、ルンバ、サンバ、マンボ、メレンゲ

パターン・ダンス要素は上記のリズムのどのリズムで滑走してもよく（両要素が同じリズムでもよいし、別々のリズムでもよい）、そのリズムのスタイルで滑走してよい。以下の範囲内のテンポで滑走する：1 分間に 4 拍子で 43～45 小節（1 分間に 172～180 ビート）。パターン・ダンス要素内を通して音楽のテンポは一定していなければならない。

ジュニア

チャ・チャ

または

チャ・チャおよび以下のラテン・アメリカン・リズムから 1 つ：ルンバ、サンバ、マンボ、メレンゲ

パターン・ダンス要素はチャ・チャのリズムでチャ・チャのスタイルで滑走しなくてはならず、以下の範囲内のテンポで滑走しなくてはならない：1 分間に 4 拍子で 28～30 小節（1 分間に 112～120 ビート）。パターン・ダンス要素内を通して音楽のテンポは一定していなければならない。

ラテン・アメリカン・リズムについては ISU Ice Dance Music Rhythms Booklet 1995 の 13～20 ページで説明されている（注意：タンゴおよびパソ・ドブレは説明に含まれておらず許されない）。

2.2 ガイドラインおよび変更

2.2.1 ガイドライン

規程第 639 条第 1 項 a ではガイドラインは毎年発表されると定めている。2011/12 シーズンは、アイス・ダンス技術委員会は以下のガイドラインを採用した。

コンセプトと振り付けはダンスの統一感をもたらさなくてはならない。パターン・ダンス要素はショート・ダンスのどの部分で滑走してもよいが、ダンス全体と調和していなくてはならず、いかにうまく組み込むかを考えることもなく単にリズムをつなげただけのような印象を持たせてはならない。

2.2.2 変更

規程第 609 条第 1 項 b, d および h はアイス・ダンス技術委員会によってシーズンごとに変更されうるとしている。2011/12 シーズンは、アイス・ダンス技術委員会は以下の特別な変更を採用した。

第 1 項 h): “最初の動きによって計時が開始されたあとは、カップルは 10 秒間を超えて一カ所に留まってはならない。プログラム中 2 回までの完全なストップ (各最長 5 秒間まで) または 1 回の完全なストップ (最長 10 秒間まで) が許される。選択した音楽にふさわしい振り付けはいかなるものも許されるいかなる (両手間隔以内のセパレーションを含む).”

2.3 必須要素

規程第 609 条第 2 項ではショート・ダンスの構成に含まれるべき必須要素のリストおよびその要素の要件は本規定で与えられた 6 要素の中からシーズンごとに発表されると定めている。2011/12 シーズンは、アイス・ダンス技術委員会はショート・ダンスの構成に含まれるべき必須要素を以下の通り採用した。

- **パターン・ダンス要素**

- **シニア:**

- ルンバを 2 シークェンス – 各シークェンスは続けて滑走してもよいし、続けてでなくともよい

- **ジュニア:**

- チャ・チャ・コンゲラードを 2 シークェンス – 各シークェンスを続けて滑走する

- **特記事項:**

- パターン・ダンスの記載、表、ダイアグラムは “ISU Handbook Ice Dance 2003” に掲載されている。

- 規程第 608 条第 1 項 d の第 1 文は以下のように読み替えるものとする: タイミング – パターン・ダンス要素は音楽に厳密に合わせて滑走しなくてはならず、

- ➤ ルンバの各シークェンス (各シークェンスを続けて行わない場合)

- ➤ ルンバの第 1 シークェンス (各シークェンスを続けて行う場合) ※

- ➤ チャ・チャ・コンゲラードの各シークェンス

- のステップ 1 は 4 拍子の第一拍で滑走しなければならない。

- ※: この場合第 2 シークェンスは 4 拍子の第 1 拍から始まることになる。

- 各パターン・ダンス・シークェンスのステップ 1 は氷面の異なる側で滑走しなければならない。

- **1 つのショート・リフトが必須**

- 追加で、トランジショナル・ダンス・リフト (6 秒まで) を必須のダンス・リフトのあとに任意で 1 つ行ってもよいが、2 つ以上は許されない。

- ステップ・シーケンス

シニア：1つの非接触サーキュラー・ステップ・シーケンス

注：

- 規程第 603 条第 4 項に基づき、この要素は時計回りまたは反時計回りでを行い、リンクのショート・アクシスの幅一杯に氷面を使わなくてはならない。
- この要素を時計回りに行うことは、パターン的一定方向の進行を定める規程第 609 条第 1 項 d の違反とはならない。

ジュニア：1つの非接触ミッドライン・ステップ・シーケンス

- 1つのシーケンシャル・ツイズル

ダンス・スピンは必須要素ではない。ただし、カップルが同じ軸のまわりを片足で（もしくは両足で）滑走するようなスピン動作を行うことは、ホールドと回転数の制限なく許される。カップルはこのような動作を振り付けの一部として用いてよい。テクニカル・パネルはこのような動作は無視し、ジャッジはこのような動作を許されたストップの数には入れないものとする。

3. フリー・ダンスの必須要素

規程第 610 条第 2 項ではウェルバランス・フリー・プログラムの必須要素とその要件は本条項で定められた 6 つの項目の中から毎年発表されるものと定めている。アイス・ダンス技術委員会はシーズン 2011/12 のウェルバランス・フリー・プログラムの必須要素を下記の通り定めた。

3.1 ベーシック・ノービスおよびアドバンスト・ノービス

2010/11 シーズンから変更なし。

（コミュニケーション No. 1649 の D.2.2 および D.3.2 を参照せよ）

3.2 ジュニアおよびシニア

ダンス・リフト

シニア

- 異なるショート・リフト 2 つおよびロング・リフト 1 つ
または
- 少なくとも異なる 3 種類の中からショート・リフト 4 つ

が必須。

追加で、トランジショナル・ダンス・リフト（6 秒まで）を必須のダンス・リフトのあとに任意で 1 つ行ってもよいが、2 つ以上は許されない。

ジュニア

- ショート・リフト1つおよびロング・リフト1つ¹

または

- 異なる種類のショート・リフト3つ

が必須。

追加で、トランジショナル・ダンス・リフト（6秒まで）を必須のダンス・リフトのあとに任意で1つ行ってもよいが、2つ以上は許されない。

1つのダンス・スピン（スピンまたはコンビネーション・スピン）が必須。

追加で、トランジショナル・ダンス・スピンを必須のダンス・スピンのあとに任意で1つ行ってもよいが、2つ以上は許されない。

1つのストレート・ライン・ステップ・シーケンス

（ミッドラインまたはダイアゴナル）イン・ホールド

1つのカーブド・ステップ・シーケンス

（サーキュラーまたはサーペンタイン）イン・ホールド

1つのシンクロナイズド・ツイズル

注意：もしダンス・スピンとダンス・リフトが組み合わせられて行われた場合、これらは2つの別々の要素として認定される。

4. ショート・ダンスおよびフリー・ダンスの必須要素に共通する要件

ステップ・シーケンス：ダンス・リフト、半回転を超えるジャンプ、ストップ、ダンス・スピン、ピルエット、パターンの逆走、ループ（すなわち許されない要素）はどの必須のステップ・シーケンスにも含まれてはならない。

シーケンシャルまたはシンクロナイズド・ツイズル・セット：必須のシーケンシャルまたはシンクロナイズド・ツイズル・セットは必須のステップ・シーケンス以外の部分であればプログラムのどの部分で行ってもよい。

5. 用語

本コミュニケーション内に書かれた専門用語¹については以下の定義を参照すること：

チャ・チャ・コンゲラード	ISU Handbook Ice Dance 2003, § I-19
コンビネーション・スピン	規程第 604 条第 14 項 e) (ii)
ダンス・リフト	規程第 604 条第 16 項
ダンス・スピン	規程第 604 条第 14 項 e)

¹訳注：元の英文では Cha Cha Congelado のように単語の一文字目が大文字で書かれている。

フリー・ダンス	規程第 610 条
ジャンプ	規程第 604 条第 17 項 a)
ラテン・アメリカン・リズム	ISU Ice Dance Music Rhythms 1995, 13-20 ページ
許されない要素	本コミュニケーションの 4
非接触サーキュラー・ステップ・シーケンス	規程第 603 条第 4 項
非接触ミッドライン・ステップ・シーケンス	規程第 603 条第 4 項
パターン・ダンス・要素	本コミュニケーションの 2.1
パターン・ダンス・シーケンス	規程第 603 条第 3 項
ピルエット	規程第 604 条第 14 項 d)
必須要素	規程第 609 条第 2 項および第 610 条第 2 項
ルンバ	ISU Handbook Ice Dance 2003, I-17
リズム	規程第 606 条第 3 項
シーケンシャル・ツイズル・セット	規程第 604 条第 14 項 b) (ii)
シンクロナイズド・ツイズル・セット	規程第 604 条第 14 項 b) (i)
ショート・ダンス	規程第 609 条
ショート・リフト	規程第 604 条第 16 項
スピン	規程第 604 条第 14 項 e) (i)
トランジショナル・ダンス・リフト	本コミュニケーションの 2.3 および 3.2
トランジショナル・ダンス・スピン	本コミュニケーションの 3.2
ウェルバランス・フリー・ダンス・プログラム	規程第 610 条第 2 項

日本語版の改訂履歴

1. 5 ページの 2 行目：第 2 版まで「ロング・リフト 2 つ」とあったのは誤りで正しくは「ロング・リフト 1 つ」。

Milan,
April 5, 2011
Lausanne,

Ottavio Cinquanta, President
Fredi Schmid, Director General